



2015年5月19日

2015年3月期

**決算説明会資料**

株式会社アイネット

[東証1部:9600]



# 1. はじめに(会社概要)

2. 2015年3月期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

次第	プレゼンター	所要時間
はじめに	執行役員 本社統括代理 内田 直克	約15分
2015年3月期 業績概要		
当社グループの 事業方針・強み	代表取締役社長 梶本 繁昌	約20分
業界環境 当社グループの状況		
通期業績予想		
質疑応答		

# inet 会社概要(2015年4月1日現在)

- 商号 株式会社アイネット
- 設立 1971年4月22日
- 本社 横浜市西区みなとみらい3-3-1
- 資本金 3,203百万円
- 代表者  
代表取締役会長 池田 典義  
代表取締役社長 梶本 繁昌



1st Data Center

- 子会社  
株式会社ISTソフトウェア  
株式会社アイネット・データサービス
- 社員数 1,364名(連結)  
896名(単独)
- 事業所／支店／データセンター  
東京事業所 札幌支店、仙台支店、中部支店  
大阪支店、中四国支店、福岡支店  
第1データセンター、第2データセンター



2nd Data Center



1. はじめに(会社概要)

## 2. 2015年3月期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

(単位:百万円・%)

	2014年3月期		2015年3月期		前年同期比
	金額	比率	金額	比率	増減額
売上高	22,528	100.0	23,229	100.0	+701
売上原価	17,117	76.0	17,796	76.6	+679
売上総利益	5,411	24.0	5,433	23.4	+22
販管費	3,747	16.6	3,835	16.5	+88
営業利益	1,664	7.4	1,598	6.9	△66
経常利益	1,561	6.9	1,546	6.7	△14
当期純利益	901	4.0	982	4.2	+80
1株当たり利益(円)	63.7	—	66.6	—	+2.9

# サービス区分別販売実績・営業利益(連結)

(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
					金額	金額
情報処理サービス	8,783	806	9,107	734	① +323	△71
(営業利益率)		9.2%		8.1%	—	△1.1P
システム開発サービス	13,063	820	13,457	826	② +394	+6
(営業利益率)		6.3%		6.1%	—	△0.2P
システム機器販売	681	38	664	37	△17	△0
(営業利益率)		5.6%		5.6%	—	0.0P
合計	22,528	1,664	23,229	1,598	+701	△66
(営業利益率)	—	7.4%		6.9%	—	△0.4P

(主な要因)

- ①コロケーションサービスで大口顧客の解約があったものの、新規受注を順調に獲得し増収  
上記売上増があったものの利益面では2DCの減価償却増により減益に
- ②金融業・製造業向けのシステム開発が増加したことで、増収・増益

(注)営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

(単位:百万円・%)

	2014年3月期末		2015年3月期末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
流動資産	7,645	31.2	8,735	33.6	① +1,089
固定資産	16,869	68.8	17,227	66.4	+357
繰延資産	—	—	—	—	
資産合計	24,514	100.0	25,962	100.0	+1,447
流動負債	5,734	23.4	6,323	24.4	+589
固定負債	8,208	33.5	7,491	28.9	② △716
負債合計	13,942	56.9	13,815	53.2	△127
純資産	10,571	43.1	12,147	46.8	③ +1,575
負債・純資産合計	24,514	100.0	25,962	100.0	+1,447

(主な要因)

- ①期末の売上高増加に伴う売掛債権の増746百万円、現預金の増350百万円
- ②長期借入金の返済による減652百万円
- ③利益剰余金の増1,228百万円

# inet キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,171	① 2,648	+1,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,741	△622	+3,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,278	② △1,675	△3,954
現金及び現金同等物の増減額	△291	+350	+641
現金及び現金同等物の期首残高	2,474	2,183	△291
現金及び現金同等物の期末残高	2,183	2,533	+350

(主な要因)

- ①利益および減価償却による内部留保2,863百万円
- ②有利子負債の返済(減少)1,014百万円、配当金支払い435百万円



1. はじめに(会社概要)

2. 2015年3月期業績概要

### 3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

## ■事業方針

### ●エンドユーザー志向

- ・お客様に選ばれ信頼関係を構築
- ・多面的な取引の実現

### ●ストックビジネスの拡大

- ・継続的な売上／利益の確保
- ・一人当たり利益の増加

## ■当社グループの強み

安全なデータセンターでシステム構築から運用、さらにはBPO業務までお客様に最適なITサービスを**ワンストップ**で提供

### システム開発サービス

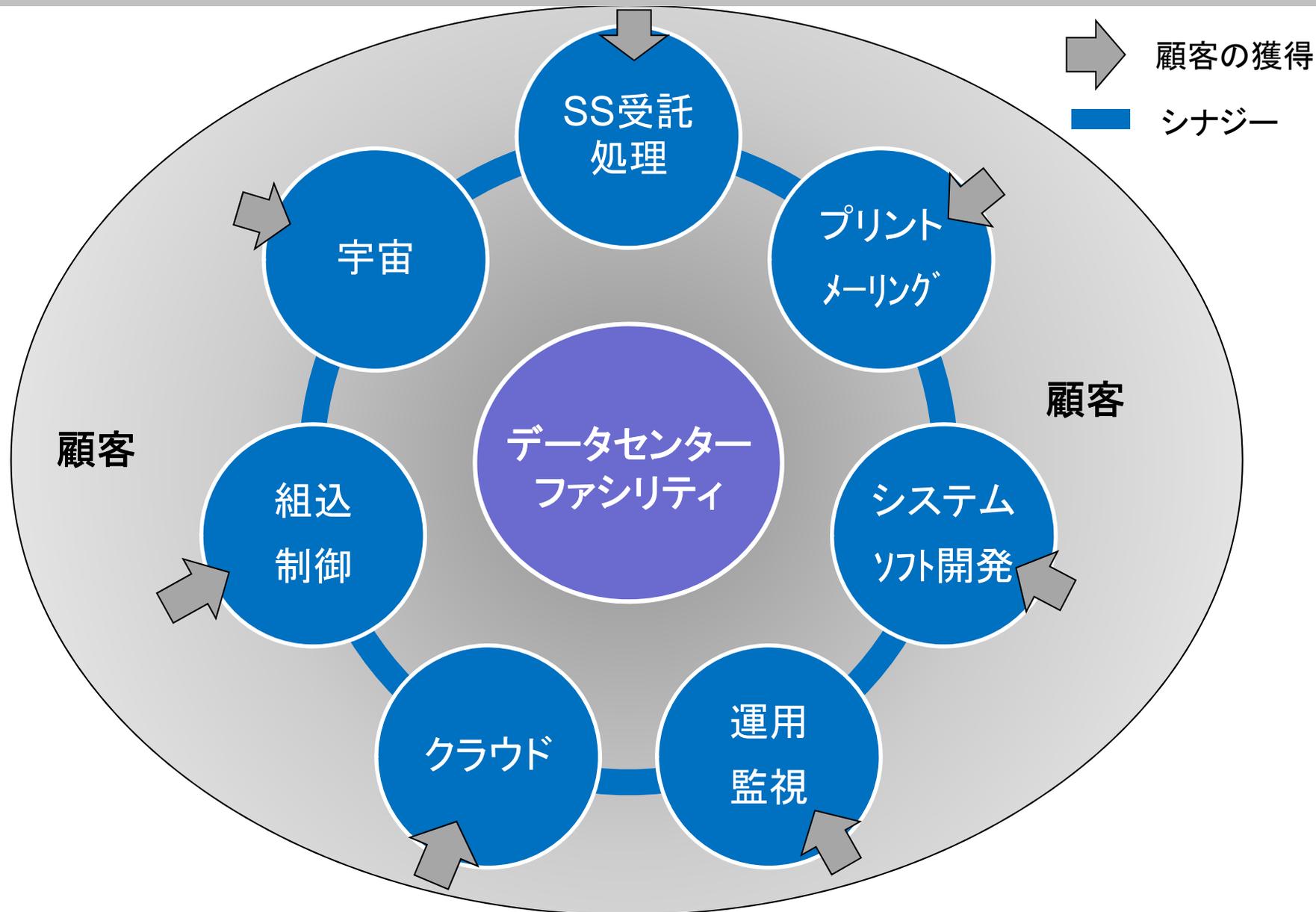
コンサル  
要件定義

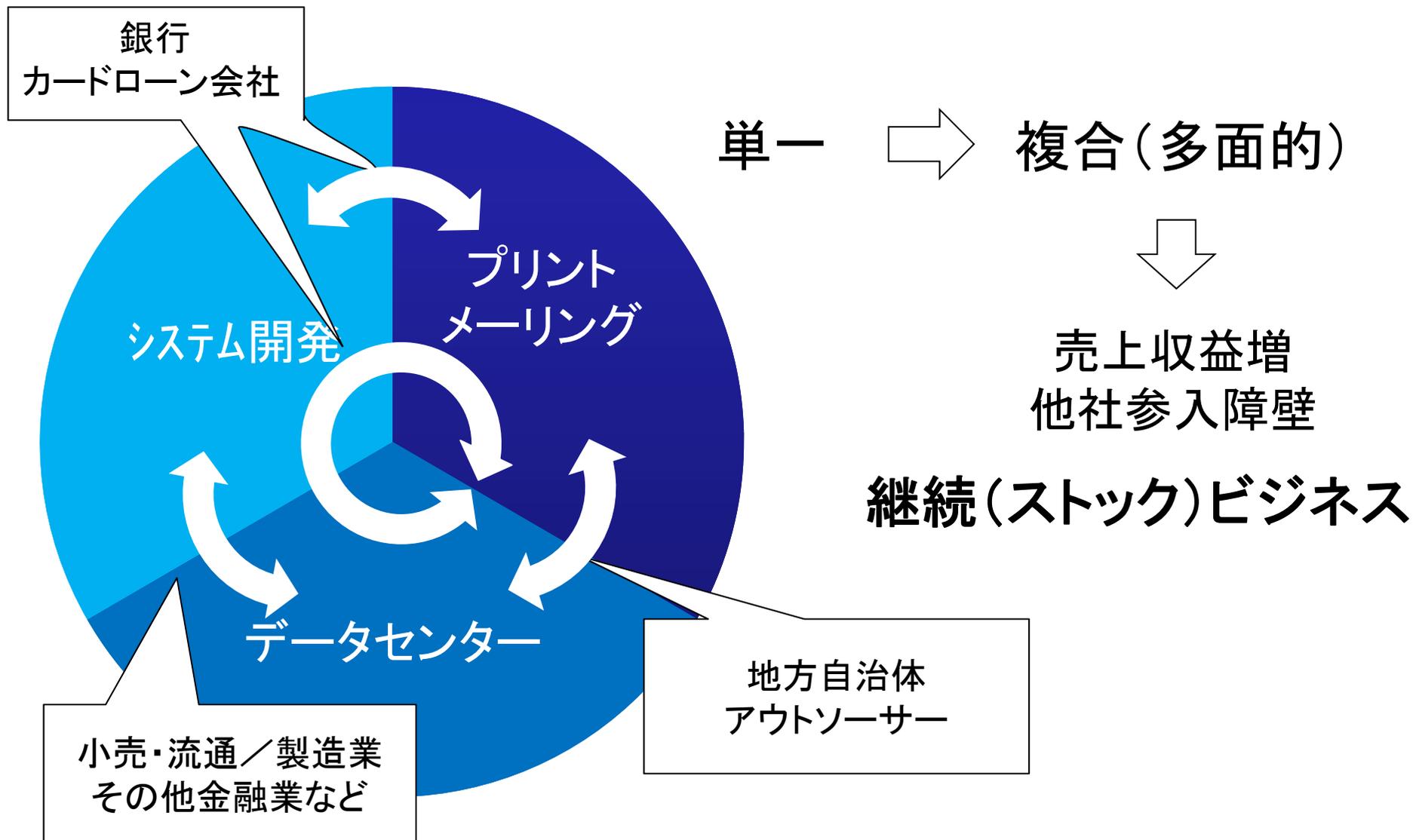
システム  
設計構築

### 情報処理サービス

受託計算  
データセンター  
クラウドサービス

プリント  
封入封緘







1. はじめに(会社概要)

2. 2015年3月期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

## 4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

## ■国内IT市場

- ITサービス市場  
2019年に5兆6205億円へ成長
- 2015年度金融機関のIT投資  
前年度比17.2%増(日銀短観)  
技術者不足は継続中
- クラウドファーストの時代へ突入  
企業はシステム導入でクラウドの採用  
を優先的検討
- 国内IoT市場は2019年に16.4兆円へ  
データセンター／クラウドの活用拡大

## ■ITトレンド

⇒景気回復継続で、システム投資は拡大傾向に  
売上増大や顧客サービス向上など「成長」や「変革」のため  
「攻めのIT投資」へ注目が高まる

ITサービス5兆6205億円に  
19年国内、民間予測  
14年から19年にかけて市場は年平均で  
1.6%で成長する。

2/19 日本経済新聞より

金融機関	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
金融機関計	-4.5	-3.0	17.2	—
銀行業	-2.9	-3.2	24.1	—
信用金庫・系統金融機関等	25.0	-3.5	19.1	—
金融商品取引業	4.8	-3.5	5.0	—
保険業	-24.7	-4.4	16.7	—
貸金業等	15.2	1.3	-4.4	—
(参考) 全業種+金融機関	0.3	-1.5	2.5	—
うち 非製造業+金融機関	-1.4	-1.7	3.4	—

4/1発表 日銀短観より

国内のIoT市場は  
2019年に16兆円を  
超える見通し

3/13 日本経済新聞より

石油業 販売店含む		<ul style="list-style-type: none"> <li>・SS数減少傾向の中、当社はシェア・処理SS数ともに拡大</li> <li>・水素ステーションへの対応</li> <li>・決済(例:プリカ)サービスを横展開</li> </ul>
製造業 制御・宇宙		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業績回復でシステム投資堅調</li> <li>・生産の国内回帰で新規システム投資も期待</li> <li>・医療／防衛分野は堅調を維持</li> <li>・宇宙基本計画⇒今後10年で最大45機の衛星打上を計画</li> </ul>
金融業、他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードローンシステムの追加開発など引き合い活発</li> <li>・2016年(メガバンク)案件集中で間接的影響も</li> <li>・攻めのITへの対応</li> </ul>
データセンター クラウド サービス		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期獲得した自治体案件などが本格稼働へ</li> <li>・足元の受注状況堅調</li> <li>【前期遅れも今期は期初から稼働 今期は、前年比18%の売上増を見込む】</li> <li>・個人情報保護、DC+プリント／メーリングで差別化推進</li> <li>・IaaSやSaaSの海外展開模索</li> </ul>



1. はじめに(会社概要)

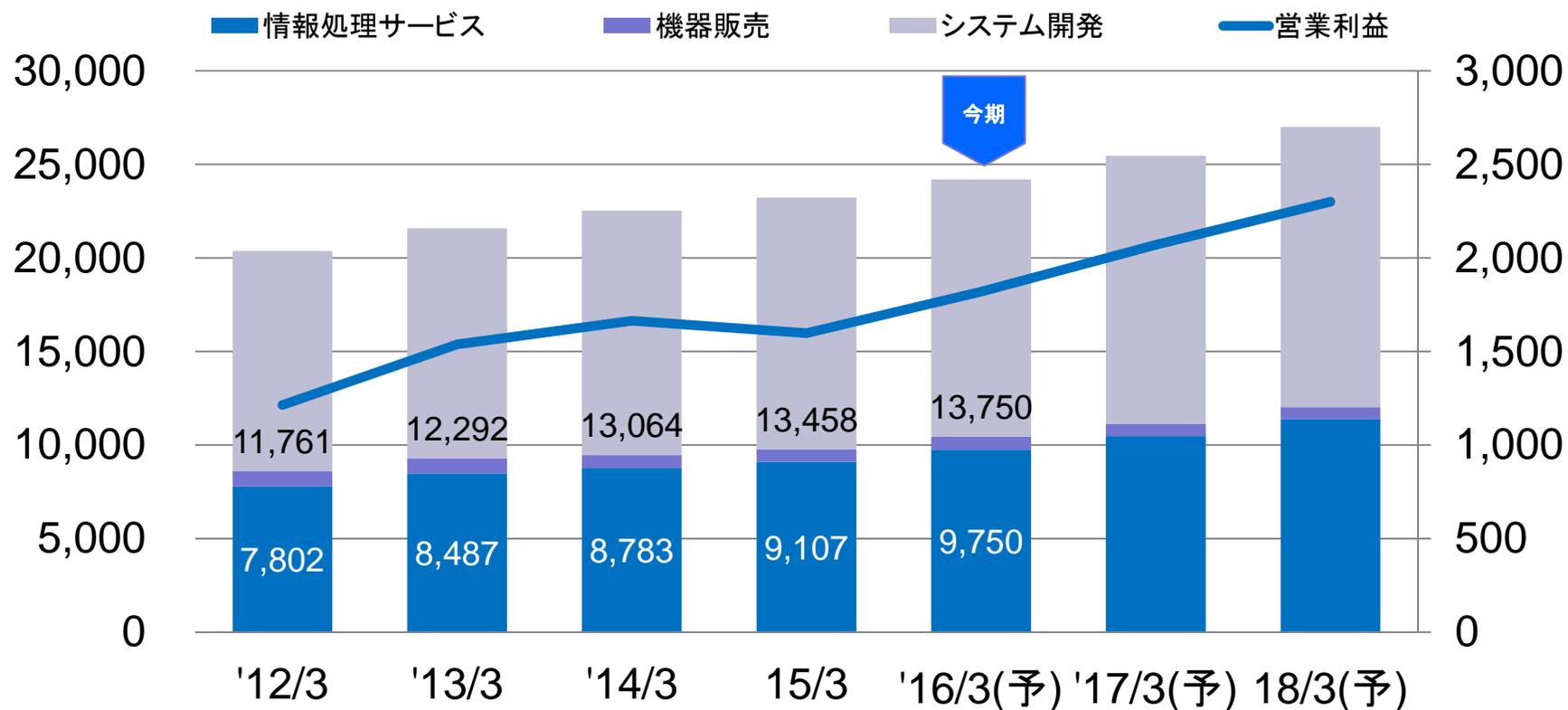
2. 2015年3月期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

**5. 中期計画・通期業績予想**

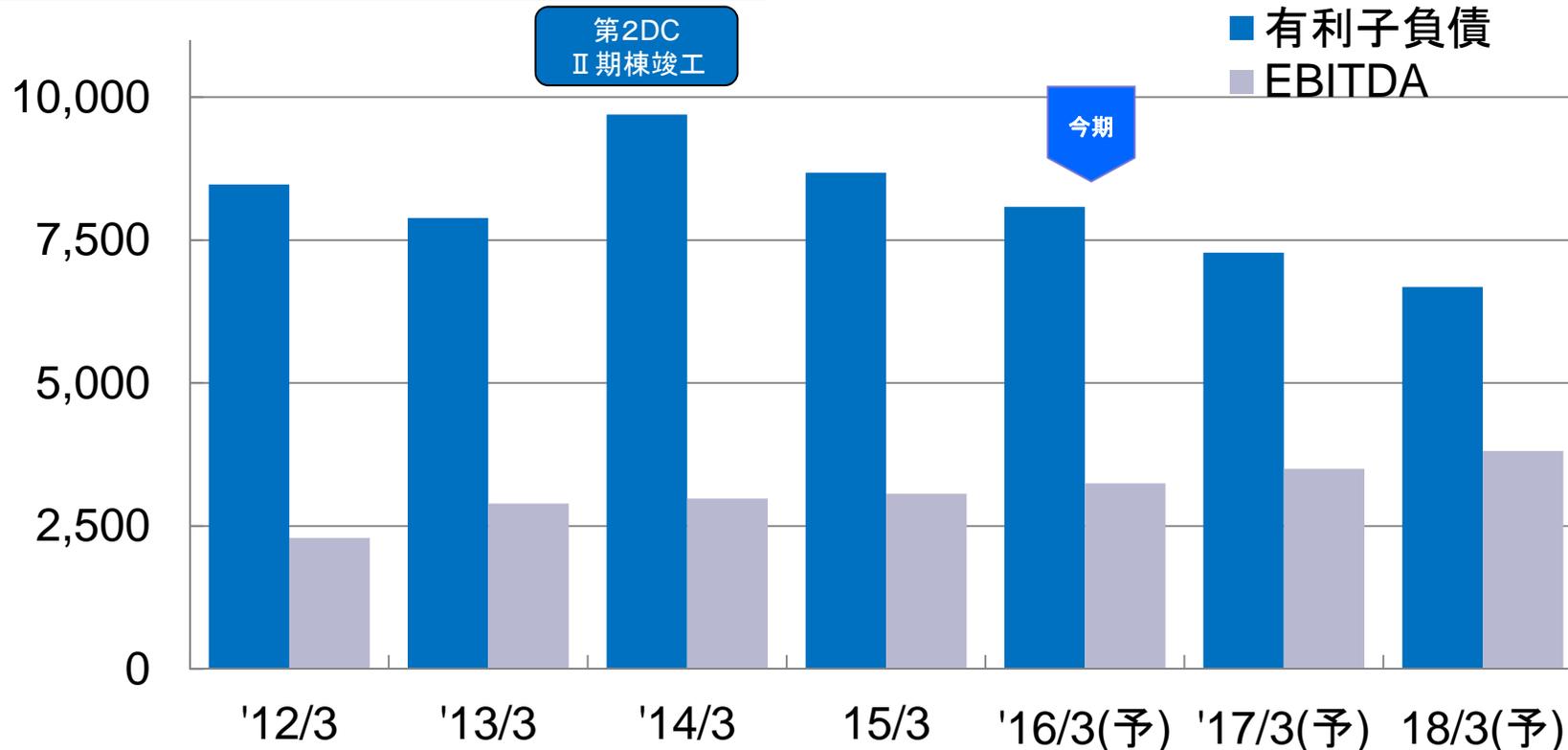
(単位:百万円)



売上高	20,374	21,588	22,528	23,230	24,200		
営業利益	1,214	1,538	1,664	1,598	1,820		
ROE	7.2%	10.4%	9.3%	8.6%			

EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費他非資金項目

(単位:百万円)



有利子負債	8,473	7,888	9,695	8,681			
EBITDA	2,290	2,894	2,979	3,064			
インタレスト・カバレッジ・レシオ	21.5	18.5	10.2	23.2			
債務償還年数(年)	3.9	4.2	8.3	3.3			

(単位:百万円・%)

	2015年3月期		2016年3月期		前期比
	金額	比率	金額	比率	増減額
売上高	23,229	100.0	24,200	100.0	+971
売上原価	17,796	76.6	18,370	75.5	+574
売上総利益	5,433	23.4	5,830	24.5	+396
販管費	3,835	16.5	4,010	16.6	+175
営業利益	1,598	6.9	1,820	7.5	+222
経常利益	1,546	6.7	1,700	7.0	+154
親会社株主に帰属する 当期純利益	982	4.2	1,050	4.3	+68
1株当たり利益(円)	66.6	—	71.2	—	+4.6

# inet サービス区分別 売上・営業利益予想(連結)

(単位:百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報処理サービス	9,107	734	9,750	874	① +643	+140
(営業利益率)		8.1%	—	9.0%		+0.9P
システム開発サービス	13,457	826	13,750	903	② +292	+77
(営業利益率)		6.1%	—	6.6%		+0.4P
システム機器販売	664	37	700	43	+35	+6
(営業利益率)		5.6%	—	6.2%		+0.6P
合計	23,229	1,598	24,200	1,820	+971	+222
(営業利益率)		6.9%	—	7.5%	—	+0.6P

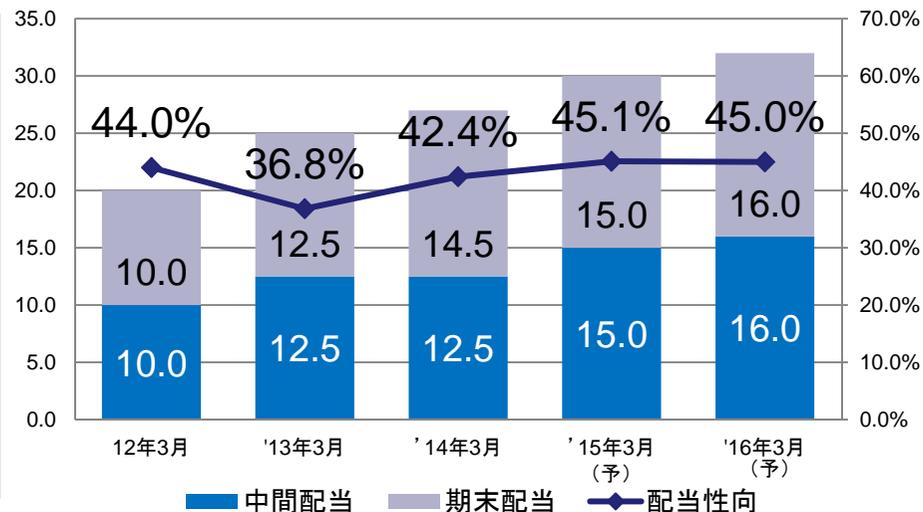
①引き合い状況好調に加え前期受注の大型自治体案件などの本格稼働により、増収増益

②システム需要は2015年も継続、増収増益

(注)営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

### 《配当方針》

将来の資金需要に備え  
内部留保しつつ  
安定配当を継続実施



### 1株当たり年間配当金の計画(4期連続増配予定)

2015年3月期(予定)  
30.0円  
中間(15.0円)  
期末(15.0円)



2016年3月期(予定)  
**32.0円(2円増配)**  
中間(16.0円)  
期末(16.0円)

本日はご多用中にもかかわらず  
説明会にお越しいただき誠に  
ありがとうございました。



当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がありますことを、予めご承知頂きますようお願い申し上げます。

当資料に掲載されているサービスおよび商品などは、株式会社アイネットあるいは各社の登録商標または商標です。

お問い合わせは、下記連絡先までお願い致します。

企画本部 経営企画・IR部 伊藤、杉岡

TEL 045-682-0808

E-Mail [infoir@inet.co.jp](mailto:infoir@inet.co.jp)

URL <http://www.inet.co.jp>